



平成 27 年 10 月 9 日

各 位

会社名 株式会社竹内製作所  
代表者名 代表取締役社長 竹内 明雄  
(コード: 6432 東証第一部)  
問合せ先 取締役経営管理部長 神山 輝夫  
(TEL 0268-81-1100 (代表))

### 平成 28 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 4 月 10 日付「平成 27 年 2 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成 28 年 2 月期(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)の第 2 四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 2 月期 第 2 四半期連結累計期間業績予想(平成 27 年 3 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,700	7,800	7,800	4,950	101.03
今回修正予想 (B)	46,866	9,428	9,745	6,172	125.97
増減額 (B-A)	4,166	1,628	1,945	1,222	—
増減率 (%)	9.8	20.9	24.9	24.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 2 月期第 2 四半期)	37,743	6,055	5,965	3,640	74.30

(注)当社は平成 27 年 9 月 1 日付で株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。これに伴い 1 株当たりの四半期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

#### 修正の理由

当社グループの米国及び欧州での建設機械の販売が期初見通しよりも増加したことにより、売上高は予想よりも 41 億 6 千 6 百万円増加し 468 億 6 千 6 百万円になる見通しです。

利益面では、売上高の増加及び為替レートが予想よりも円安に推移したことにより、営業利益は予想よりも 16 億 2 千 8 百万円増加し 94 億 2 千 8 百万円になる見通しです。また、営業利益の増加及び円安によって為替差益を 2 億 3 千 8 百万円計上することにより、経常利益は 19 億 4 千 5 百万円増加し 97 億 4 千 5 百万円、第 2 四半期累計期間の四半期純利益は 61 億 7 千 2 百万円になる見通しです。

2. 平成 28 年 2 月期 通期連結業績予想（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,000	12,500	12,500	7,900	161.24
今回修正予想 (B)	82,000	14,500	14,100	8,800	179.61
増減額 (B—A)	7,000	2,000	1,600	900	—
増減率 (%)	9.3	16.0	12.8	11.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	69,893	10,593	12,249	7,694	157.04

(注) 当社は平成 27 年 9 月 1 日付で株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。これに伴い 1 株当たりの当期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算出しております。

修正の理由

建設機械の販売は、米国及び欧州で増加する見通しから、売上高は予想よりも 70 億円増加し 820 億円になる見通しです。

利益面では、売上高が増加する見通しにより、営業利益は予想よりも 20 億円増加し 145 億円になる見通しです。下期は下記の為替レートにより上期に対して円高を予想し、為替差損を 7 億 3 千 1 百万円見込むことから経常利益は 141 億円、当期純利益は 88 億円になる見通しです。

第 3 四半期以降の為替レートは、1 米ドル=115 円、1 英ポンド=176 円、1 ユーロ=128 円、1 人民元=18.3 円を前提としております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上